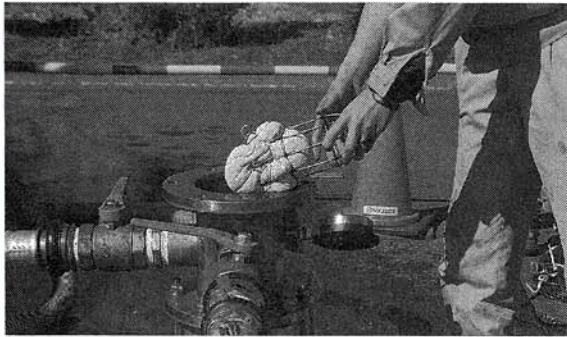


下野市内で管内洗浄

中里建設が「アクアピグ工法」公開施工



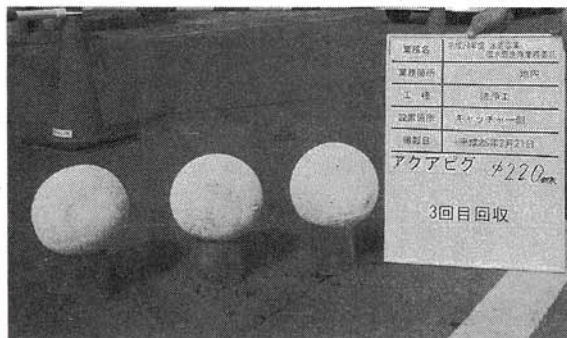
ランチャーへピグを装填



キャッチャーに到着したピグ



管内の状況をカメラ画像で確認する市職員



ピグは約2kmの洗浄に耐える耐久性を持つ

中里建設（中里聡代表取締役、佐野市栃本町1051）は先月21日、下野市東前原地内等でアクアピグ工法の公開施工を実施。下野市水道課職員との立会いの下で石橋第10号井導水管（L1950m）の管内洗浄を行い、洗浄後の状況を調査・報告した。

同社は独自に実験研究施設を築造し、靴や産業資材製品を扱うアキレス（伊藤守代表取締役社長、東京都新宿区）と共に、同で研究を進め、特殊な塗料で表面を加工した軟質ウレタン材質「アクアピグ」の開発に成功。昨年9月に特許を共同出願し、今年に入って商標登録を出願した。

アクアピグ工法とは、この新開発した「アクアピグ」を使用する管内洗浄工法。口径75mmのボール式補修弁等から投入・回収して、最大口径φ250mmまでの水道管路内の洗浄が可能。物理的な摩擦力による

洗浄力を維持しつつ、「アクアピグ」の持つ超圧縮還元特性により中詰まりの危険性を回避して、水道水の常時濁質の原因となる浮遊物・堆積物・付着物を徹底的に除去する。

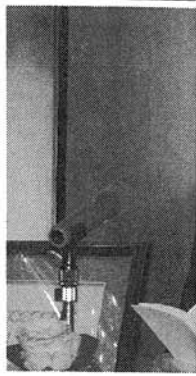
大規模工事が不要なため交通規制範囲や施工時間が少なく、1日でL1000m以上の洗浄が可能。区間断水と短時間で洗浄ができるため、断水による住民生活への影響を最小限に抑制できる。

また、土工事や管断工事が不要であり、異形口径・曲管・継輪・山越・伏越を含め、全国に埋設されている全ての導水・送水・配水管路延長の、約88%の洗浄が可能。さらに、管径が違う複合路線でも1工程で施工でき、コストパフォーマンスにも秀でている。

今回の公開施工では、中里代表取締役をはじめ市職員が説明。注目の新工法ということで、県内をはじめ北海道札幌市や宮城県仙台市、兵庫県神戸市などから水道関連業者の関係者約20人が見学に訪れた。

施工手順は、洗管対象管路の地下式消火栓や、空気弁下にあるボール式補修弁等にピグを投入するためのランチャーを井戸側に設置。またストッパバルブ側の補修弁にはピグを回収するランチャーを設置する。

謝辞を読み上げる神宮氏（上）、鎌倉市議の発声で乾杯



2〜3階、倉庫部分を平屋建てとする方針で、詳細は検討中。設計業者や施工業者は県からの紹介で決定するとしている。

の皆さまの要件・要望を聞きながら良い工業団地としたい」と抱負を述べた。

続いて、前田代表取締役社長は「この地にしつ

公表した。それによると、木造3階建て一戸建て等住宅の棟数は2200棟で、前年度同月比96・5%となっている。このうち防火106・8%、108・7%となった。このうち防火地域内の棟数は4棟、準防火地域内の棟数が34棟。

シャープ（本社・大阪市阿倍野区、奥田隆司社長）

シャープ 単一で1万... 100Wクラ

翌週25日〜27日に茨城県東城市で施工した配水管洗浄においても高い洗浄力が実証された。同社はこれまでに全国各地で累計延長1万8527mの上水道管路内をピグ洗浄した実績がある。

高度成長期に整備された配水管の老朽化が進み、更新時期を迎える中、コストと施工性に優れた同工法に県内のみならず全国の水道事業者の注目が集まっている。